

週間漁海況情報—第4号

平成26年1月27日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

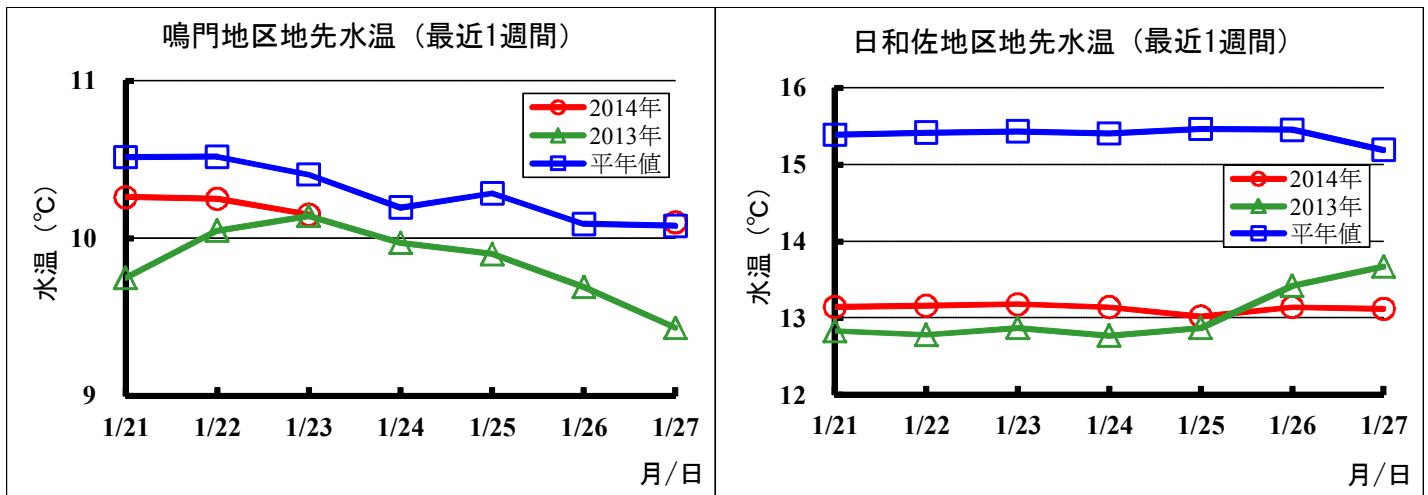
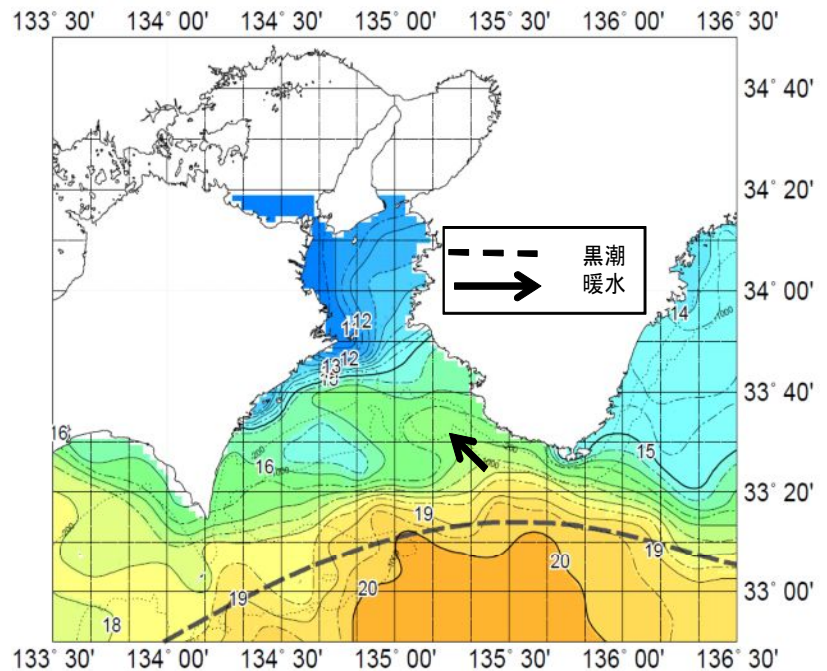
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.1.27）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で10～13℃台、海部沿岸で12～16℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。海部沿岸では、15℃以下の内海系水に覆われている。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並」の10.1～10.3℃、日和佐地区は「低め」の13.0～13.2℃、牟岐地区は「かなり低め」～「低め」の11.9～14.0℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

* 平年値

鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.6トン（1日1隻あたり19kg）、カワハギが0.4トン（同39kg）、大主体にサバフグが0.2トン（同34kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.3トン（同4kg）、特大主体にマトウダイが0.3トン（同5kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、小主体にマアジが0.3トン（同20kg）、カタクチイワシが10.7トン（同135kg）、アオリイカが0.2トン（同5kg）、小主体にイカ類が0.3トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、小主体にマサバが0.2トン（同33kg）、中主体にメジナが0.2トン（同29kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.5トン（同41kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 2014年1月20日～2014年1月26日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	31	578	19	大主体
		カワハギ	9	353	39	
		サバフグ	7	236	34	大主体
建網		ヒラメ	77	289	4	中主体
		マトウダイ	55	298	5	特大主体
小型定置網		マアジ	15	295	20	小主体
		カタクチイワシ	79	10,674	135	
		アオリイカ	44	223	5	
		イカ類	47	307	7	小主体
大型定置網		マサバ	7	234	33	小主体
	メジナ	7	203	29	中主体	
釣り	ゴマサバ	13	532	41	大主体	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月21日～1月27日には、海部沿岸では、延縄で、大主体にキダイが0.3トン、大主体にサバフグが0.6トン、小型定置網で、カタクチイワシが0.4トン、アオリイカが0.4トン、大型定置網で、マメ主体にマアジが0.9トン、小主体にマルアジが0.2トン、小主体にゴマサバが3.2トン、大・中主体にアオリイカが0.4トン、中主体にスルメイカが0.6トン、釣りで、大主体にマアジが0.3トン、メジロが0.5トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」の10℃台、日和佐地先で「低め」～「やや低め」の13℃台で推移する見込み。